5 年 3

2

玉

地步 ょ 1) で ਭੌ 平成 2

わ**身**か たる身がは天より は 天ん 也等りも 我かふ ゕ゙ゟ゙゚゚゙ヺ ずるは 父ふも 母は出い の 身 を 損を父ふ る の 也な肉に

¬日 のそ本昔 で が がね の 教 が え を ع 教 本 聞えが かがない 伝 な わ かなっぜ つ た 今ま た 時 我 宣 に 出 わ らな 会 つ かっ た

たのはごてとでた る 救意 先 祖 世世と どうし 先別しい 祖₹な う質問 世^でぜ 困り、言葉 どうなるの い の彼岸舎の彼岸舎のは、 はだ地でつ 地獄行きです。 現在・未来は個人だけの に かという事を心配したのです。 してし の問題では キリ まい 洗せる ではなく先祖から子ます。日本人にとっ 礼がト を受ける ず えで 死 んは .. ら 子し. 宣せし きしま 洗れれれ 教詩 孫を を 魂輝たけ に わ

のせをの父め徳♡ 御二今 ・ 先 選 に を 祖 で あ 週 は 仏道慈 ま 道修行を読を慈しまない رگرَ ますように、 お陰であります。 が あ 祖さまの一番ぶり、我が身が事と同じでもま IJ ŧ う す。 の * 我が身を慈しまない! 私達があるのは、父母。 文頭の日蓮大聖人の 問題 あ IJ ま す。 どうぞお 母 じ 功<

身四かのう

5 み

例体で

日 拝 近

進

で

でした。 々で の日 教 先世本 師 祖ぞに は に わ 母ぼ N O

お経 の えなければならない を せ

お

を

題だい

が を出 す り恥畤 な 61 方 の 番 多

いとよ唱の難だ恥い る 中 う の を 確 か に て周が お 唱な えた す くし る が

ず か لح て も l1 です おも をした。 か すた لح えそ 目ださ い人れ 生が 唱ば家のん えー 族は

えかし る 61 の は と言う なら き お ば題だる も ま 声 せをん出 る

心のも でかっ で念じて ١J う事か ょ

耳くに「 に U ま す が て 11 お しる 迦がか ら良 はどう で お 教え に

تع 仏 る くじ の 教 の で 修行方法 ほか 法 の 中 の ひとつに (五= 誦吟法。 師心

۲ لح てで そ ゆ す L ても) と い お う 迦ゕひ ŧ 樣 の は つ は が 説 私 رگ かた ! ち りま 声 . 『を 身_心出 ず意で لح 小いの ずる Š ĺ١

こ

こ

_ = え 唱唱なっ 恐 ば唱 たええ らく す える。 が 大 か _ ョ と お 事 れ れ で ま 気持ち 唱が が は す り実 がお 声念な ずると て った لح 葬式 は た し も な ていれ らどう思 せい法言く れ ま 唱なう うことです。 ちゃ 事事 で とな h 1) え ま す。 でな 最次へ 後ぎにに 後 念な声

な

5

れ

7

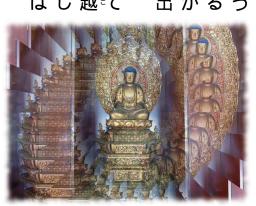
の同出 で す。 唱は 声え を 7 出 下 さ しし لے う 言 しし はた < 実な はり 大ま す な そ

< _ _ ` で 5 心 がと 悲が 述 込 ゔ痛だ(\ も 5 れ ば 込。 一の中で、 はも るの る る 淚 , が 出 ように、 がほ が本来 出 ます。 ま への姿でもある心はたらけばれたらけばり。 日蓮大聖 す لح な つ 何 かて りた時 現 痛 いれ も す。 る も か

れが声きでし行く てうのまえとこま意をる明てわ色ま声 **क** 識出か確器れ々た らに具まな意自 化がし さ て れ唱録識をが事 仏点る を る れ 車 さ とで 指点出 と 同 事ま ゃ ま がす飛 差す 飛一呼で 機 称いと でき そ 検 うの よよ 体 りう も に 一にりない。 運 な る 転 い う声出した 手 経課とも で で必出 念や的 え おに ず す。 確 た題確頭声 こ目∜認のを 認 らともで中出がよ

へで 下ぞはす はの 恥▫。 ょ に さ 勇 l , ず う 満 気 慣なてお ますよ を か 思いがけないその恥ずか.を出してお問 な大や た 世 い切お声 لح うな題を 思 ち事目出 が ١J 唱録はだを Ni 清さえず声と唱と 々がを しがを分え 出か る し越で

待いしみどすりうこ



改 修 の

とれ

てご寄 井 進 \vdash 輝 て頂きまし 郎 樣 万

助

(土)午後開

参 開 開 加 催 催 料山 月 本 開

詳 細 は 別

一十二日 (十三時~十七時)二十三日 (九時~十七時)二十七四 (九時~十六 催日 游 時 三月二十二日 社 作 (金)~二十四日 全京! X 畄 崎 成 勝 寺 町 9 | 1

住 職が主催する書展です。 場 所 ・京都勧業館(みやこめっせ)二階美術工芸ギャラリー どうぞお足をお運び下さい

月の予定

<mark>彼岸は大事な先祖供養。家族全員</mark> <mark>し、感謝のお題目をお唱えしましょう</mark>。 お塔婆の申込みはお早めに!

焼香の仕方、合掌、のし袋の書き方etc

信行会

護国寺HP(ホームページ) http://yamasina-gokokuji.jp/ ブログ http://danrin.exblog.jp/